



将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

係るリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



もくじ

平成29年9月期 第3四半期決算の概要	.3p
平成29年9月期 業績見通し(修正)	.1 2p
会社概要	.1 6p
よくあるご質問	.2 1p

平成29年9月期 第3四半期決算の概要

1. 計画どおり新園19施設を開設しました

- 今期は、6月までに認可保育所18施設、学童クラブ1施設を新規に開設

2. 大幅増収増益となりました

- 売上高 9,518百万円（前年同期比 +2,250百万円 +31.0%）
 - ✓ 新規開設、在籍園児数の増加が主な要因
 - ✓ 四半期別売上高は、3,541百万円と2四半期連続で過去最高を更新
- 営業利益 304百万円（前年同期比 +80百万円 +35.8%）
 - ✓ 租税公課増加や人件費の増加などの営業費用増加を売上高増加で吸収

3. 減損損失を計上しました

- 保育施設の内装設備等に係る固定資産について減損損失228百万円を特別損失に計上

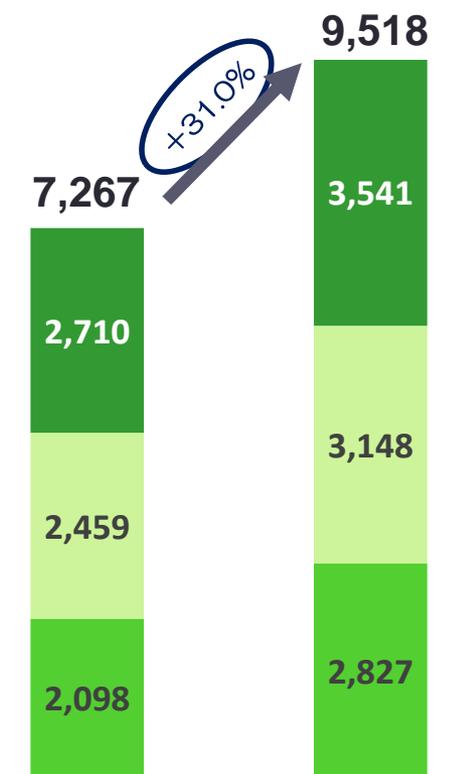
4. 通期業績見通しを上方修正しました

- 保育所運営に係る助成金等が想定より増加
- 認可保育所の運営委託費に係る売上高について消費税の課税区分の見直しを行ったことによる租税公課の増加や人件費増加等の営業費用増額に加えて、減損損失計上があるものの、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回(期初)予想を上回る見込み

平成29年9月期 第3四半期業績概要

売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q

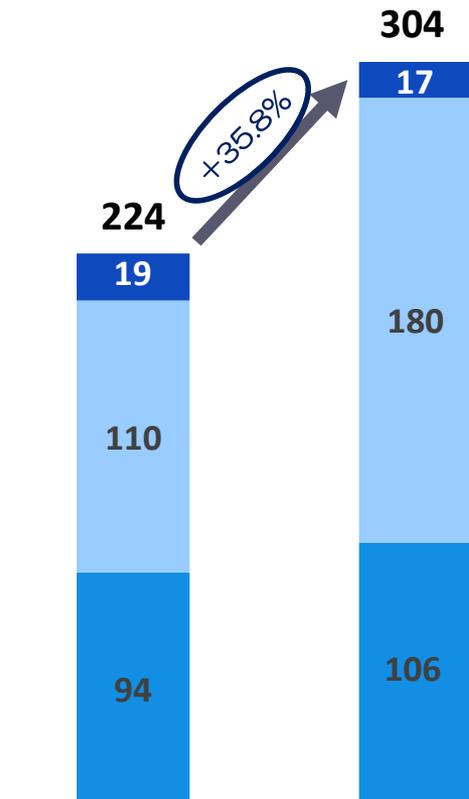


H28/9期

H29/9期

営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q

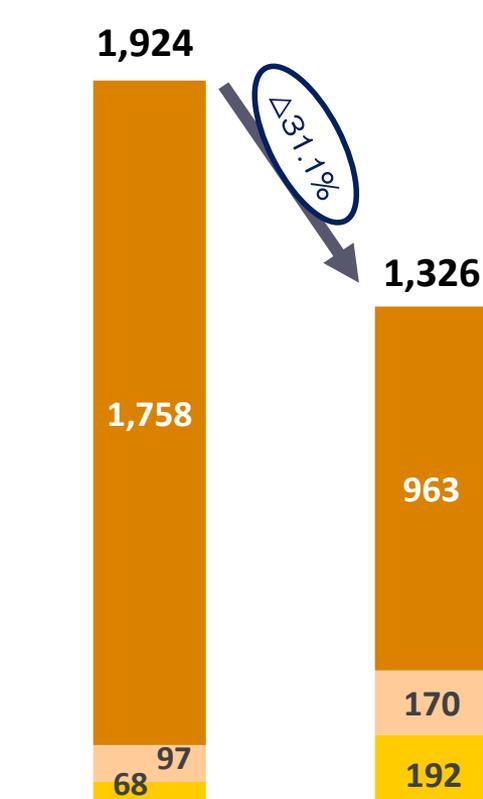


H28/9期

H29/9期

経常利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q



H28/9期

H29/9期

単位：百万円

平成29年9月期 第3四半期業績

(単位:百万円)

	平成28年9月期 3Q		平成29年9月期 3Q		
		構成比		構成比	前年比
売上高	7,267	100.0%	9,518	100.0%	31.0%
売上原価	6,104	84.0%	8,008	84.1%	31.2%
売上総利益	1,162	16.0%	1,510	15.9%	29.9%
販売費及び 一般管理費	938	12.9%	1,205	12.7%	28.5%
営業利益	224	3.1%	304	3.2%	35.8%
営業外収益	2,122	—	1,500	—	△29.3%
営業外費用	422	—	479	—	13.3%
経常利益	1,924	26.5%	1,326	13.9%	△31.1%
特別損益	0	—	△228	—	—
税引前 当期純利益	1,924	26.5%	1,097	11.5%	△43.0%
当期純利益	1,104	15.2%	713	7.5%	△35.4%

◆ 今期開設した新規施設の売上高が5億円加算

◆ 在籍園児数の増加等により、既存施設の売上高が前年同期比17億円増加

◆ 人件費、地代家賃(社宅補助等)の増加に加えて、消費税の課税区分見直しにより租税公課が増加

◆ 一方で、販管費率が低下し営業利益率はやや改善

◆ 前期に大型施設を開設した反動で補助金収入が減少し経常減益

◆ 減損損失を2億円計上

貸借対照表

(単位:百万円)

	平成28年 9月期	平成29年9月期 3Q	増減額
流動資産	2,588	2,706	118
現預金	1,474	1,334	△140
固定資産	9,325	11,271	1,945
有形固定資産	7,152	8,763	1,610
資産計	11,914	13,977	2,063
流動負債	2,124	2,385	261
固定負債	4,547	5,705	1,158
負債計	6,671	8,091	1,420
純資産	5,242	5,886	643
負債・純資産計	11,914	13,977	2,063
有利子負債	3,704	4,367	663
自己資本比率	44.0%	42.1%	—

◆ 新規開設に伴い建物及び構築物が16億円増加し、固定資産は19億円増加

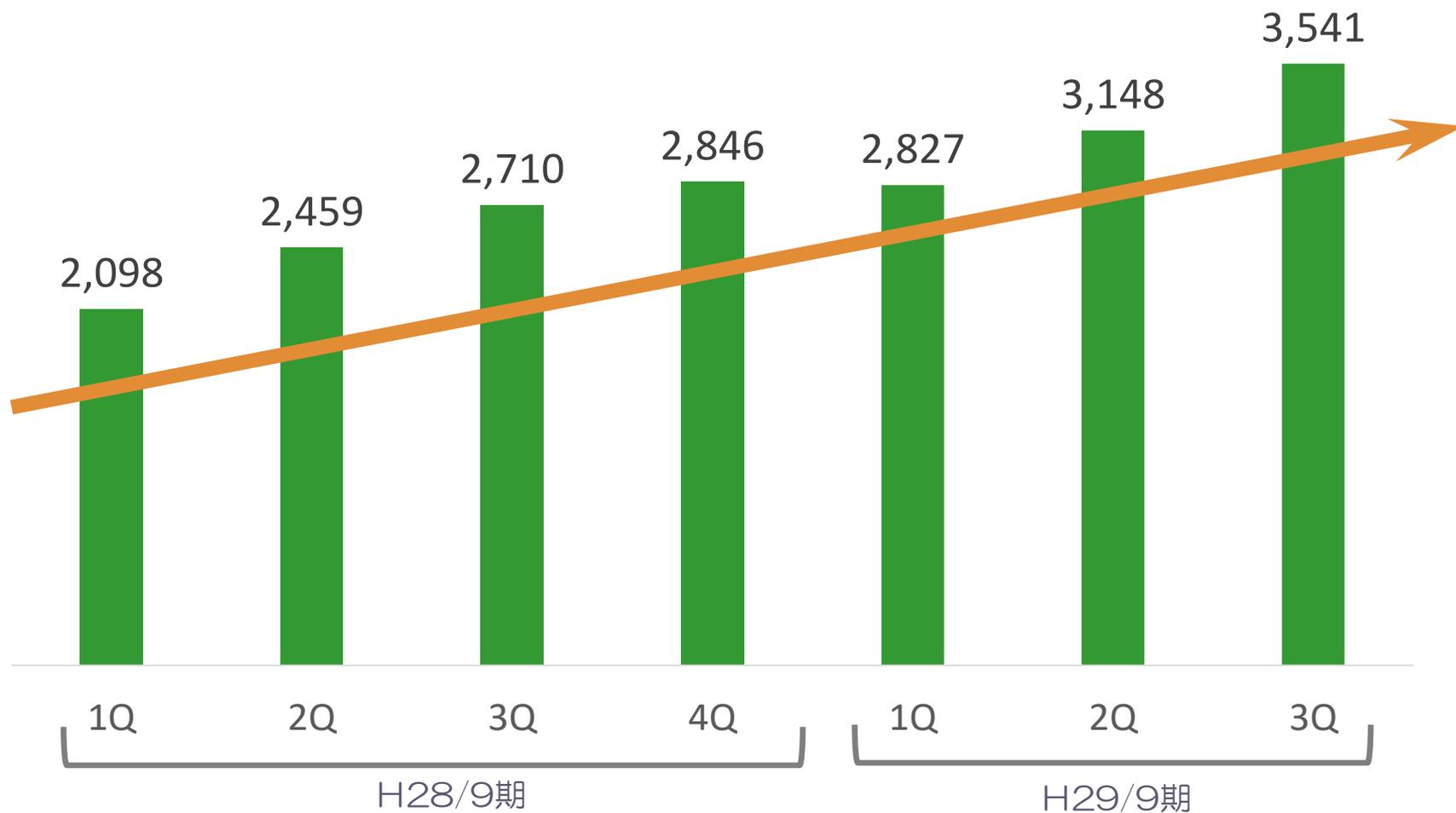
◆ 長期借入金の増加や退職給付制度導入に伴う退職給付に係る負債の計上等により負債が増加

◆ 四半期純利益の計上により純資産が増加

◆ 新規開設による借入金増加で有利子負債が増加

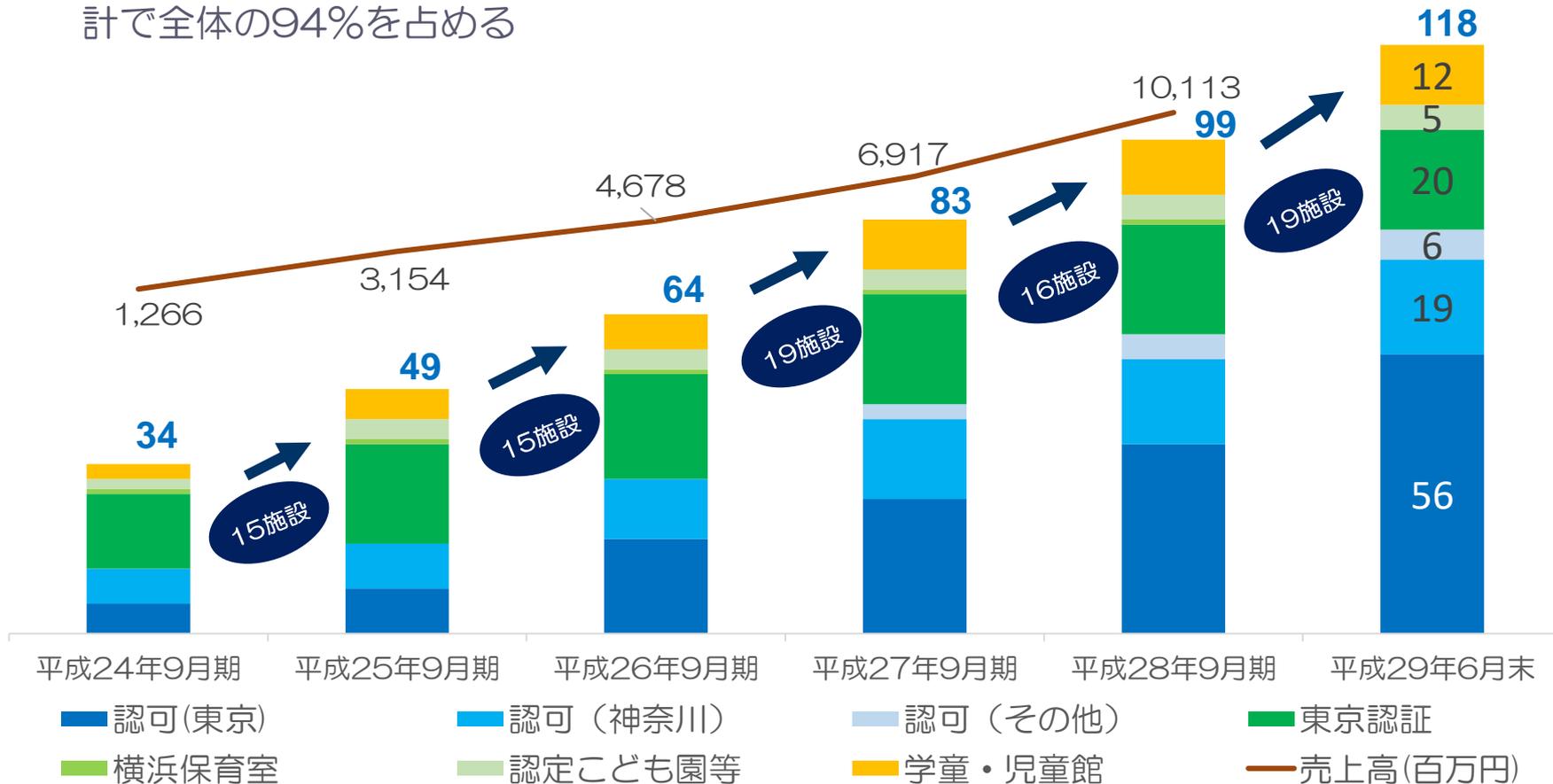
四半期別売上高の推移

■ 四半期毎の売上高は順調に増加



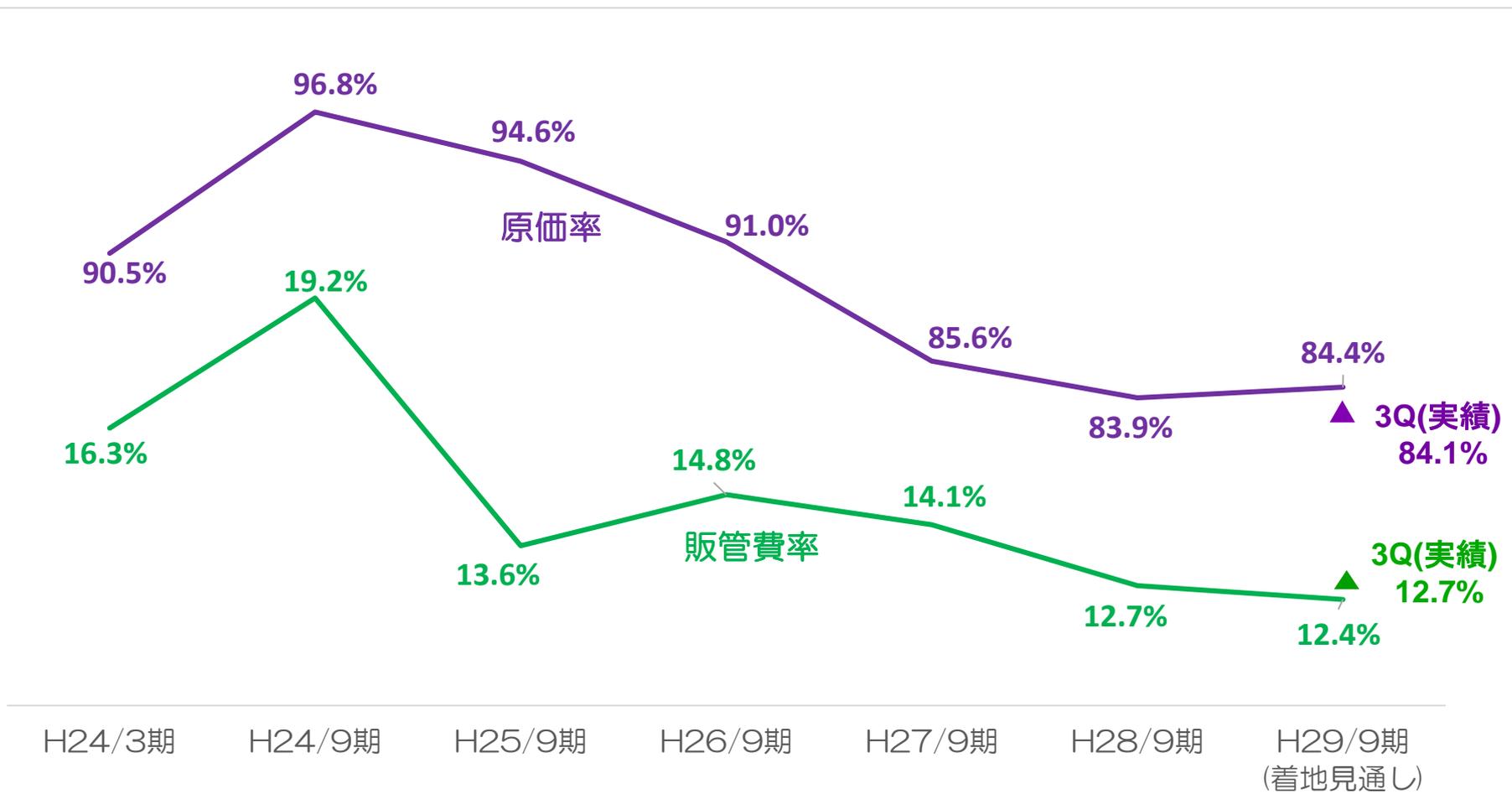
運営施設数の推移

- 平成29年9月期で合計19施設を開設(すべて開設済み)
- 現在合計118施設(平成29年6月1日時点)を運営
- エリア別では、東京都で91施設、神奈川県(横浜市・川崎市)で20施設と2エリア計で全体の94%を占める



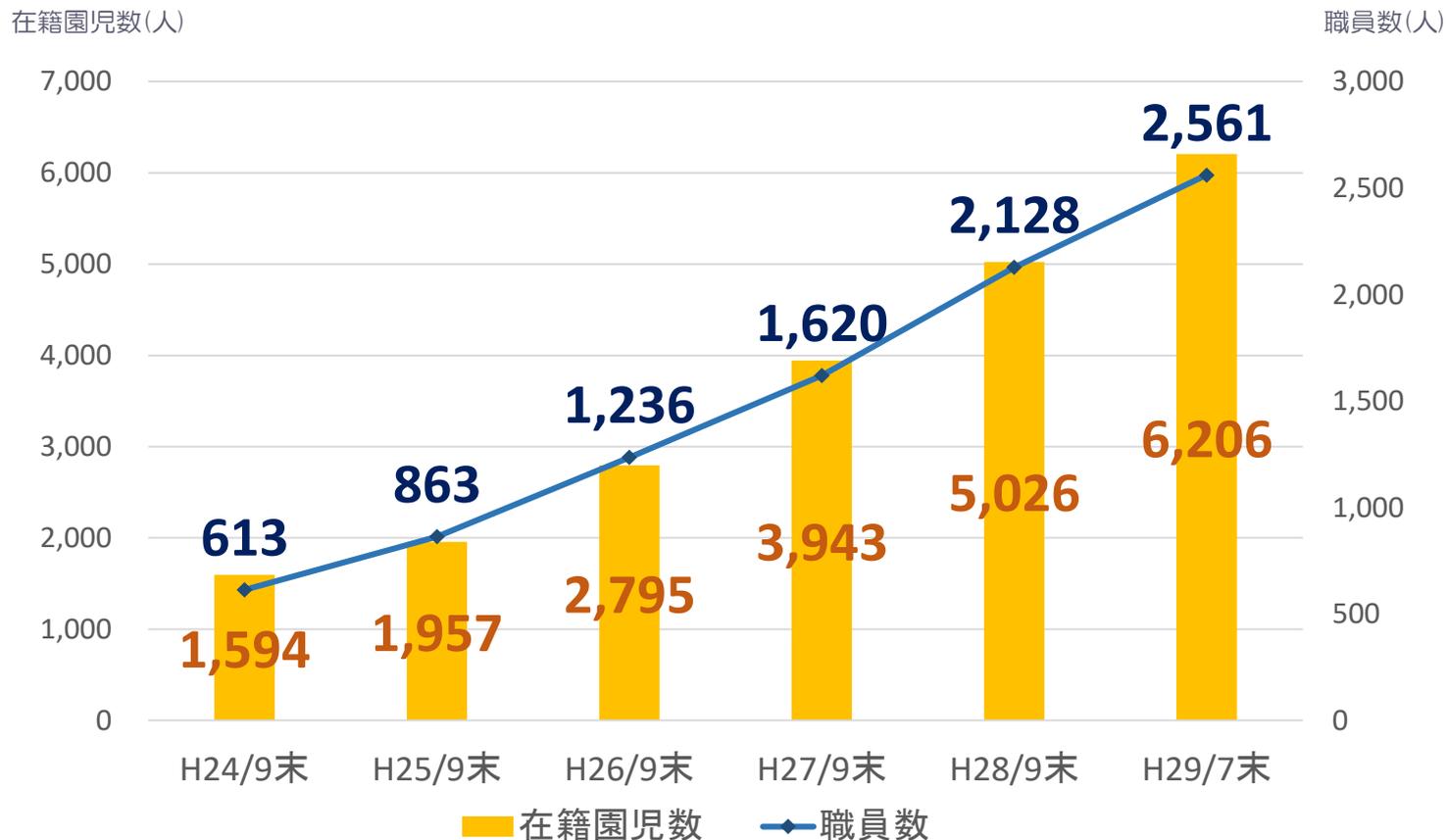
注：H27年9月期以前の売上高については(株)グローバルキッズ連結数値となります
認定こども園等には小規模保育を含みます

原価率と販管費率



注：H26/9期とH27/9期は(株)グローバルキッズ連結数値となり、それ以前は(株)グローバルキッズ単体数値となります
H29/9期は、業績予想修正後の着地見通しとなります

在籍園児数と職員数の推移

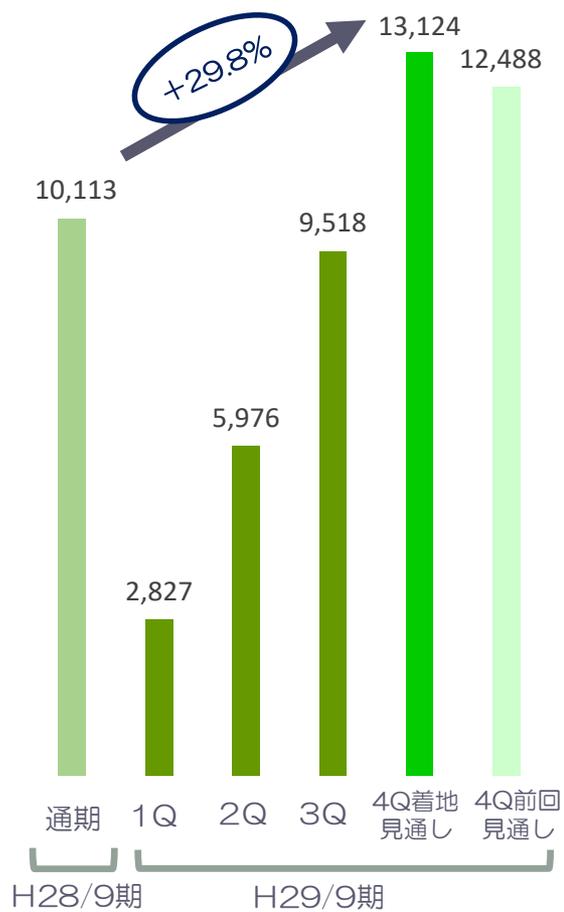


在籍園児数：学童クラブ・児童館に在籍する児童数は含まず
職員数：本部職員・パート職員等を含む

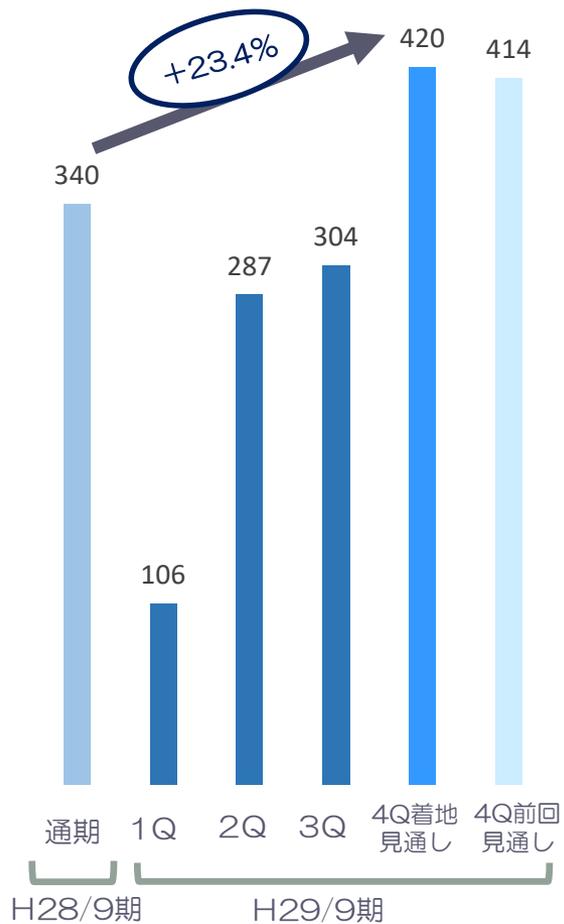
平成29年9月期 業績見通し(修正)

平成29年9月期 業績予想の修正

売上高

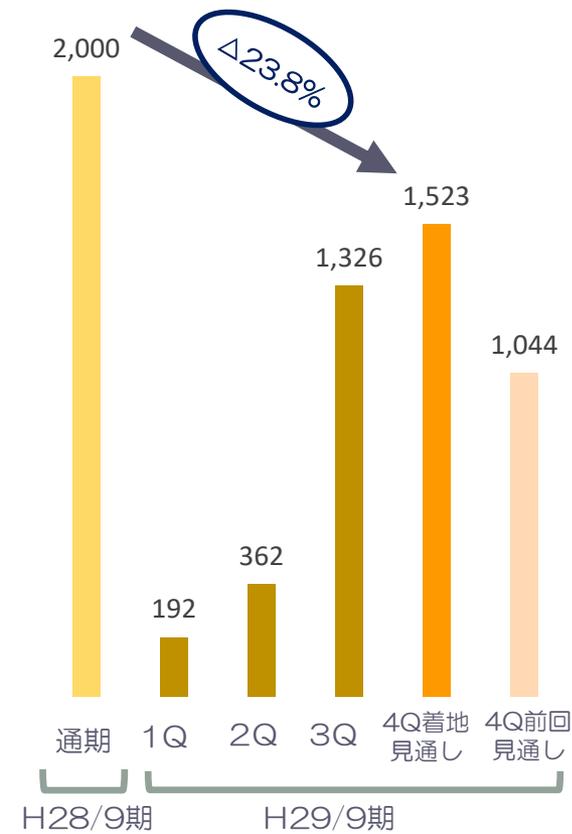


営業利益



経常利益

単位：百万円



H29年9月期連結 業績修正の概要

(単位:百万円)

	平成28年9月期 連結		平成29年9月期連結業績見込み				
	構成比	前回見通し		修正見通し			
			構成比	構成比	構成比	前期比	
売上高	10,113	100.0%	12,488	100.0%	13,124	100.0%	29.8%
売上原価	8,487	83.9%	10,626	85.1%	11,076	84.4%	30.5%
売上総利益	1,626	16.1%	1,862	14.9%	2,048	15.6%	25.9%
販売費及び 一般管理費	1,285	12.7%	1,448	11.6%	1,627	12.4%	26.6%
営業利益	340	3.4%	414	3.3%	420	3.2%	23.4%
営業外収益	2,148	—	1,299	—	1,603	—	△25.3%
営業外費用	488	—	669	—	500	—	2.5%
経常利益	2,000	19.8%	1,044	8.4%	1,523	11.6%	△23.8%
特別損失	0	—	0	—	△228	—	—
税引前 当期純利益	2,000	19.8%	1,044	8.4%	1,294	9.9%	△35.3%
法人税等	641	—	386	—	452	—	△29.4%
当期純利益	1,358	13.4%	658	5.3%	841	6.4%	△38.1%

平成29年9月期 主な修正要因

◆ 保育所運営に係る助成金等が想定より増加

◆ 課税区分の見直しにより租税公課が想定を上回るほか人件費が膨らむものの、売上高増加等により営業利益は前回見通しをやや上回る見込み

◆ 当初見込んでいなかった補助金収入を計上し営業外収益が増加

◆ 新規施設に係る採用費が想定を下回り営業外費用が減少

◆ 減損損失を計上したが補助金収入の増加等により当期純利益は前回見通しを上回る見込み

H29年9月期新規開設施設 ～計画どおり全施設開設済み～

所在地	施設数及び施設名	想定定員数	施設形態	開園時期
東京都 中野区	グローバルキッズ鷺ノ宮園	73名	認可	2016年11月
江東区	グローバルキッズ 豊洲五丁目保育園、住吉園、西大島園	91名/73名/62名	認可	2017年4月
豊島区	グローバルキッズ 雑司が谷園、東池袋園	60名/60名	認可	2017年4月
新宿区	グローバルキッズ 若葉園、神楽坂園	60名/42名	認可	2017年4月
板橋区	グローバルキッズ成増園	90名	認可	2017年4月
葛飾区	グローバルキッズ東新小岩園	57名	認可	2017年4月
世田谷区	グローバルキッズ若林園	65名	認可	2017年4月
国分寺市	グローバルキッズ西国分寺園	60名	認可	2017年4月
狛江市	グローバルキッズ狛江園	69名	認可	2017年4月
三鷹市	グローバルキッズ三鷹園	99名	認可	2017年4月
千代田区	グローバルキッズ六番町園	80名	認可	2017年6月
足立区	ろく北千住こども園	60名	認可	2017年4月
神奈川県 横浜市	グローバルキッズ南万騎が原園	60名	認可	2017年4月
横浜市	グローバルキッズ 南万騎が原学童クラブ	-	学童クラブ	2017年4月
大阪府 大阪市	グローバルキッズあびこ園	90名	認可	2017年4月

保育所：18施設
学童：1施設

1,251名

会社概要

会社概要

会社名	: 株式会社グローバルグループ
設立	: 2015年10月(H27年10月)
資本金	: 1254百万円
発行済株式総数	: 8,497,560株
決算期	: 9月末
上場取引所	: 東京証券取引所マザーズ
代表	: 代表取締役 中正 雄一
従業員数	: 2,548人(パート含む)
運営施設数	: 118施設
完全子会社	: 株式会社グローバルキッズ 株式会社ろく

事業内容：

保育所の運営を主な事業とする子会社の経営管理およびそれに付帯する業務等

[子会社の事業内容]

- ・ 保育所等の運営
- ・ 学童保育の運営
- ・ 保育所に係る開業コンサルティング 等

平成29年6月末時点



経営指導

(両社とも100%子会社)

GlobalKids

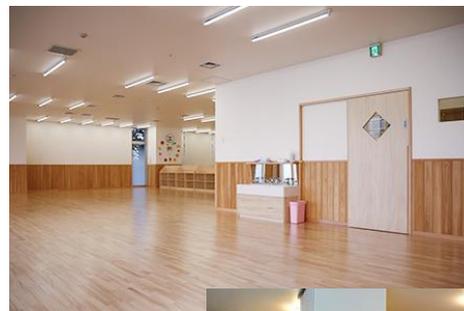
事業内容

- ・ 保育所等の運営
- ・ 学童保育の運営
- ・ 保育所に係る開業コンサルティング
- ・ 上記事業に係る関連事業等



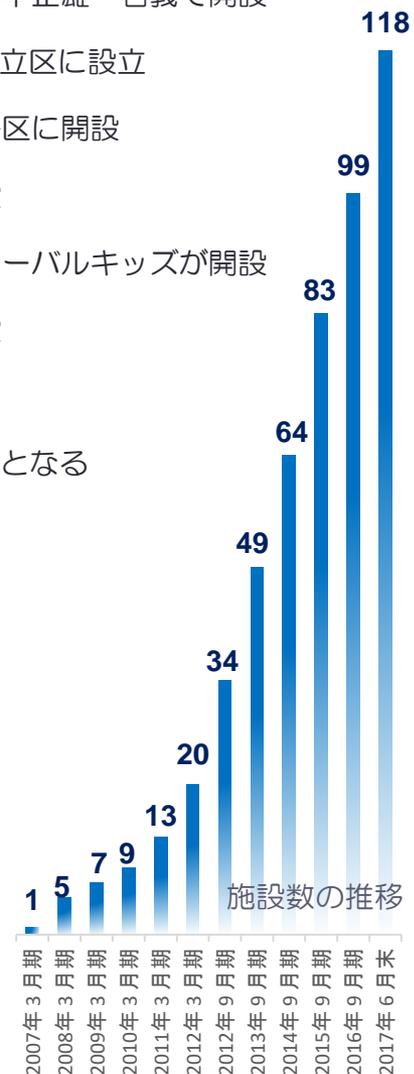
事業内容

- ・ 保育所の運営
- ・ 人材紹介業
- ・ 上記事業に係る関連事業等



沿革

年月	主な変遷
H18年1月	東京都足立区において、東京都認証保育所「六町駅前保育園」（現株式会社ろくが運営）を中正雄一名義で開設
H18年5月	保育所の運営を目的として、株式会社グローバルキッズ（資本金30,000千円）を東京都足立区に設立
H18年10月	株式会社グローバルキッズとして初めてとなる保育所（東京都認証保育所）を東京都世田谷区に開設
H20年11月	当社グループとして初めての認可保育所を株式会社グローバルキッズが東京都板橋区に開設
H21年4月	神奈川県横浜市緑区に東京以外で初めてとなる保育所（横浜市認可保育所）を株式会社グローバルキッズが開設
H22年4月	当社グループとして初めての学童クラブを株式会社グローバルキッズが東京都板橋区に開設
H24年2月	「六町駅前保育園」を法人化し株式会社ろく（資本金1,000千円）を設立
H24年9月	株式会社ろくが増資（資本金44,000千円）を実施し、株式会社グローバルキッズの子会社となる
H25年4月	株式会社グローバルキッズの本社を東京都足立区から東京都千代田区に移転
H25年7月	株式会社グローバルキッズが埼玉県上尾市に認可外保育園（現小規模保育施設）を開設
H26年4月	当社グループの運営施設数が60施設となる
H27年4月	東京都中央区に当社グループとして初めてとなる児童館を開設 大阪府大阪市浪速区に大阪市認可保育所を株式会社グローバルキッズが開設 当社グループの運営施設数が83施設となる
H27年10月	共同株式移転により、株式会社グローバルグループ（資本金100,000千円）を設立し、株式会社グローバルキッズと株式会社ろくを完全子会社化
H28年3月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
H28年11月	当社グループの運営施設数が100施設となる



“子ども達の未来のために”

～豊かな心を持った輝いた大人を魅せる～

保育方針1

- 子どもの安全と安心を基本として、自ら伸びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある保育をする。

保育方針2

- 子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止め、その主体的な活動を育む。

保育方針3

- 子どもを中心に据え、家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との係りを大切にする。

多様な保育環境

- 『子ども』中心という理念を軸に、多様な保育環境を提供
- 多数の園を運営するため、希望に応じて多様な保育を経験することが可能

学べる環境作り

- 保育の実践に加え、海外研修、社内研修等により保育士として成長する環境作りを整備

学びへ

一斉保育

担当制保育

子ども達の
未来のために

海外の保育
(ハンガリー保育等)

海外から
定期巡回
指導

実践へ

海外研修

- 毎年6回程度、各約10名前後でフィンランド、ハンガリー、イタリアなど伝統的な保育を実践する都市へ研修視察を実施



キャリアパスや階層研修など

- 成長に応じたキャリアパスの設定とキャリアに連動した階層別研修、任意参加の実践研修など様々な学ぶ機会を提供



よくあるご質問

Q. 売上の内容は？

- ✓ 当社グループの売上の多くは、自治体より交付を受ける保育施設の運営委託費となります。
- ✓ 認可保育園の運営委託費は、国が定める公定価格に、各自治体が独自予算で加算した金額の合計となります。

[公定価格抜粋]

- ✓ 地域や定員数等により公定価格の水準に差があります。

地域区分	定員区分	年齢区分	標準保育基本単価
20/ 100 (23区)	51人から 60人まで	4歳以上	53,100円
		3歳	60,580円
		1,2歳	116,140円
		乳児	190,990円

地域区分	定員区分	年齢区分	標準保育基本単価
10/ 100 (仙台市など)	51人から 60人まで	4歳以上	49,840円
		3歳	56,760円
		1,2歳	108,400円
		乳児	177,660円

年齢区分	標準保育基本単価の推移		
	H26年	H27年	H28年
4歳以上	51,110円	52,360円	53,100円
3歳	58,230円	59,720円	60,580円
1,2歳	111,350円	114,420円	116,140円
乳児	182,620円	188,040円	190,990円

地域区分	定員区分	年齢区分	標準保育基本単価
10/ 100 (仙台市など)	91人から 100人まで	4歳以上	35,170円
		3歳	42,090円
		1,2歳	93,730円
		乳児	162,990円

施設基準：20/100地域(18/100地域 H26年)、51-60名定員

出所：平成28年度公定価格(内閣府)

Q. 営業外の金額が大きい が主な要因は？

(営業外収益について)

- ✓ 新規開設した施設に係る設備投資のうち、内装工事費などの一部に対して、自治体から補助金が交付される場合があります。当社グループでは交付を受けた補助金を営業外収益の補助金収入に計上しております。
- ✓ 補助金額は、例えば、「内装工事費の8分の7」など費用に応じて増減します。また、上限金額が設定されている自治体や交付の無い自治体もあります。

(営業外費用について)

- ✓ 新規開設した施設に係る開設時の費用（施設や保育に係る備品費や保育士等の採用費など）を営業外費用の開設準備費用に計上しております。
- ✓ なお、上記のとおり、営業外の収支については、新規開設した施設数や施設規模（設備投資金額）、開設する自治体、その他の要因などで変動します。

Q. なぜ首都圏でのドミナント戦略なのか？

- ✓ 待機児童が集中している首都圏は、園児が集まりやすい地域です。2016年4月現在の待機児童数は全国で23,533人ですが、東京都ではそのうちの36%の8,466人に上ります。長期的にみても首都圏には人口流入が想定されることから高い保育需要が見込まれます。
- ✓ また、東京都や横浜市は公定価格単価や自治体加算が厚く、他地域の保育所に比べ収支面で安定した経営が可能となります。
- ✓ その他、施設間が近接しているため職員異動なども容易となり、管理が効率的・安定的となりコストの低減が見込みやすくなります。

Q. 新規開設施設が安定期になるのは開設後どのくらい期間がかかるのか？

- ✓ 概ね2、3年を要します。
- ✓ 開設年度、0-2歳児はほぼ定員まで入所しますが、3-5歳児は空きが多く、年々の持ち上がりで2、3歳児が5歳児となるまでに2、3年を要するためです。
- ✓ なお、施設運営費（人件費や家賃など）は開設年度から定員に応じたコストを要するため、安定期になるまでは施設単位で収支が悪い状況が続きます。

Q. 園児はどのようにして募集するのか？

- ✓ 認可保育園や認定こども園などについては、各市区町村がウェブサイト等を通じて所管内施設の募集を行い、利用希望者は市区町村に入園希望施設を申請します。
- ✓ 利用希望者が空き定員を上回る場合は、市区町村が管理する希望者毎の優先順位に応じて、入園の可否や入園施設を決定します。
- ✓ 従って、施設側では、園児の募集や入園者の決定は行いません。
- ✓ なお、東京都認証保育所は、各市区がウェブサイト等を通じて所管内施設の空き情報を提供しますが、入園の申し込みは利用希望者が各園に直接行い、入園者も各施設が決定します。



ご清聴ありがとうございました！